

【放牧】（広島県三次市廻神町 二本松牧場）

- 19haの水田でジャージー牛22頭を放牧（365日昼夜完全放牧）し、水田の耕作放棄地化の防止に寄与。
- 濃厚飼料は使用せず、国産の牧草のみを給与。
- 春に分娩・子育てをし、秋に子牛の離乳と乾乳を行う季節繁殖を実施。そのため生乳生産は春から秋の限定。
- 雄子牛を草だけで育てた「牧草牛の肉（グラスフェットビーフ）」として販売。
- 平成30年には牧場隣接の店舗「二本松牧場 牛の草」をオープンし、ランチ・カフェの営業を開始。
- 令和元年度に放牧畜産実践牧場（放牧畜産基準）の認証を取得。

【取組の経緯】

平成17年	広島県三次市において二本松牧場を開業。
平成22年	自給粗飼料のみ給与するジャージー牛の自然放牧体系へ転換。
平成25年	副産物である雄牛などの牛肉の販売を開始。
平成27年	低温殺菌瓶詰め牛乳の販売開始。バター作りなどの体験の受け入れも始める。
平成30年	牧場隣接の店舗「二本松牧場 牛の草」をオープン。草だけで育てた牧草牛の肉（グラスフェットビーフ）・牛乳の販売及びランチ・カフェ営業開始。
令和元年	放牧畜産実践牧場（放牧畜産基準）の認証を取得



放牧中の
ジャージー牛



刈り取った牧草をロールにし、冬場の餌に



牧場隣接の店舗「二本松牧場 牛の草」

三次市

＜草種＞

- ・イタリアンライグラス
- ・オーチャードグラス
- ・ケンタッキーブルーグラス
- ・アカクローバ 等